

「教育県大分」 創造に向けた地域別意見交換会 in 中津 開催概要

[開催日：令和元年11月13日(水)]

【学校訪問①】 大分県立中津東高等学校

【訪問者】 大分県教育委員会（工藤教育長、教育委員、理事、教育次長 他）
中津市教育委員会（栗田教育長、大下教育次長、教育委員、課長 他）

中津東高校では、「県北部における人材育成の拠点校として、地域社会に貢献する産業人(スペシャリスト)の育成」を目指して、①授業改善の推進 ②キャリア教育の充実 ③次代を担う人材育成 を重点目標に掲げています。①では、生徒の実態を踏まえた取組として、生徒の授業アンケートの結果を分析し、検証・改善を基に「基礎学力の定着」と「引きつける授業」を展開しています。②では、学年・学科・進路指導部が連携し、各学年によるキャリア教育を行っています。③では、地域と連携することで「地域産業を担う人材育成」と「地域の活性化」に力を入れています。現在では、地元商店街の活性化として、マーケティング部の“落語で笑いを届けよう”の取組がテレビで特集が組まれました。



地域を支える人材育成に注力

【学校訪問②】 中津市立鶴居小学校

【訪問者】 訪問先①に同じ

中津市立鶴居小学校では、『「めあて」を持ち、共に高め合う、活気あふれる子どもの育成』を教育目標に掲げ、中学校区と連携して「人間関係形成能力」を育成に重点を置いています。児童のつながりを大切にし、授業では、ユニバーサルデザインが浸透した「全員活躍型授業」を推進しています。また体育専科教員を中心とした体力向上の取組が充実しており、児童は1時間の授業の中で顔を真っ赤にし、汗びっしょりになって楽しく学ぶことができています。

授業では、「キーワード」をたよりに、全員が主体的に学ぶ工夫がなされています。右の写真は、出し合った考えをみんなで吟味し学び合いを深めているところです。他の学年でも児童が中心となって学びを進めていたり、キーワードを活用して自分の考えをまとめたりする姿が見られ、主体的・対話的で深い学びが実現されていました。



考えを吟味し深い学びへとつなげる

【学校訪問③】 中津市立緑ヶ丘中学校

【訪問者】 訪問先①に同じ

中津市立緑ヶ丘中学校は、全校生徒643名、22学級の県北最大規模の中学校です。学校教育目標に「つながりを大切にし、人のために汗を流し『生きる力』を身につけた生徒の育成」を掲げ、チーム学校として「授業づくり部」「集団づくり部」「環境づくり部」の3つの部を軸に学校教育を展開しています。

授業は“全員活躍”をスローガンに、学習環境や授業のユニバーサルデザイン化を重視し「基礎・基本の定着と活用力の育成」を目指しています。また、定期的に授業改善に向けた研修をもち、教師の授業力向上にも磨きをかけています。生徒会活動では、20年以上継続して「資源回収活動」に取り組み、収益金で電動ベッドや車いすを中津市に寄贈しています。部活動では、今年の中津市総合体育大会で11本もの優勝旗を獲得し、全競技が県総体へ出場するなど、文武両道を目指す勢いのある学校です。



生徒主体の授業を教師がコーディネート